

2022年度 「沖縄の音楽」 シラバス

芸術科「沖縄の音楽」シラバス	学年（単位数）	第3学年（2単位）
	担当者	新城 隆明

1、 目標

- ①生涯にわたり音楽に親しみ、音楽を通じて自己の人生を豊かにする。
- ②郷土の音楽に興味関心を持ち、その表現を探求する

2、 内容と学習方法

- ①沖縄の音楽、特に三線の演奏と「工工四」の理解、表現方法を学び、演奏発表する。
- ②グループでアンサンブルの選曲、練習を行い、発表する。
- ③声楽曲・独奏曲・ミュージカル・諸民族の音楽・郷土の音楽など、代表的な音楽を鑑賞し味わう。

3、 学習計画及び評価方法等

	月	学 習 内 容	学 習 の ね ら い	備 考
1 学 期	4	オリエンテーション 楽しい歌声	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の心がまえを知る ・自己表現の練習 	1学期、三線の基礎知識を学習する。三線は弾き謡いがスタイルなので、歌も積極的に学習する。また、声の表現の楽しさを感じ取る。
	5 ～ 7	三線の歴史を知る 「工工四」に挑戦 1学期のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・三線と工工四について理解する ・三線のポジションに慣れる。 ・簡単な練習曲を弾く ・実技テストリハーサルを行う。 ・実技テストを発表形式で行う。 	
2 学 期	9 ～ 12	弾き謡いに挑戦 組踊りとは？ 2学期のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・各自が選択した作品を弾き謡いで練習する。 ・組踊りについて調べ、各自で新聞を作成する。 ・実技テストリハーサルを行う。 ・実技テストを発表形式で行う。 	2学期は独唱に取り組む。お互いで鑑賞し合い、表現を工夫する。また、組踊りについて詳しく学習する。
3 学 期	1 ～ 3	総合研究 「発表会」	<ul style="list-style-type: none"> ・表現または鑑賞でテーマを設定し、個人またはグループで計画的に練習・研究し発表を行う。 ・担任を招待し、感謝の気持ちを込めて学習の成果を披露する。 	高校3年間の音楽学習の集大成です。大いに情熱を傾け、悔いの無い発表にしていきたいと思います。

4、 評価方法 下記の4つの観点から評価した1学期、2学期、3学期の成績を総合し年間の学習成績とする。

	評価の観点及び内容	評価方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的基本的な知識を理解している。 ・音楽の雰囲気を感じ取りながら、自己のイメージと構造や文化的歴史的背景との関わりについて、理解している。 ・創意工夫の課程で様々な音楽表現を試しながら、その表現の意図を自ら活用できる技能を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動に対する姿勢 ・グループ学習に取り組む態度 ・多様な表現活動 ・ワークシートの記入状況 ・筆記テスト・実技テスト
思考力・判断力 表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽を形づくっている要素を知覚し、感受しながら関わりについて考えている。 ・音楽に対するイメージを膨らませ、表したい音楽表現について考え、どのように表現するかについて意図を持っている。 ・曲想を感じ取りながら、自己のイメージや感情を音楽的背景と関わらせて聴くことができる。 	
学びに向かう力 人間力等	<ul style="list-style-type: none"> ・仲間との交流を通して各自の考えに気づきそれを共有している。 ・感じ取ったことに共感しながら、個々の学びを深め、音楽のよさや美しさを味わっている。 ・音楽と人々の生活に関心を持ち、それを自分の生活または社会に、生かし生涯にわたって音楽を愛おしむ感情を見いだしている。 	

5、 担当者より

- 「自分の力で向上しようとする」ことが大切です。また、積極的に指導・助言を求めることも大切です。
- 歌唱（独唱・合唱など）、器楽（三線・リコーダー・ギター・キーボードなど）の学習ができるようになっていきますので、初めてでもまた自信がなくても臆せずにチャレンジしていきましょう。
- 演奏の発表、鑑賞した楽曲や演奏に対する自分なりの考えを述べるなど、プレゼンテーションの力も身につけていきましょう。1年後成長した自分にきっと気づくはずですよ。
- 鑑賞では、一つ一つの曲に込められた歴史やドラマを想像することが大切です。